

Kurobe Art Research vol.1

富山省三

木とめぐり、つづく道

2022年4月16日(土)～6月26日(日)

黒部市美術館

主催／黒部市美術館 共催／北日本新聞社 後援／北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらいテレビ、新川テレビ放送

富山省三

木とめぐり、つづく道

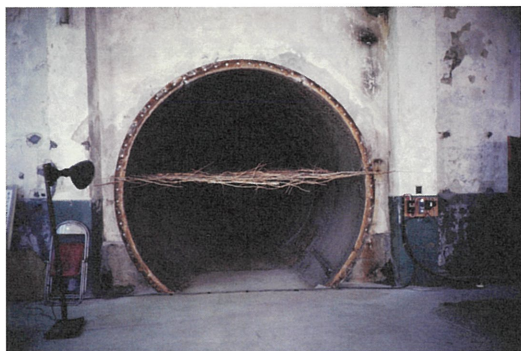
富山省三は、1970年代中頃以降の目覚ましい活動が県内外の公募展で高く評価され、また「選ばれた俊英15人展」や「ART IN FRONT TOYAMA」等第一線で活動する作家の作品を紹介してきた県内の展覧会に出品するなど、当時、地域で芽吹いていた新たな動向の渦中で着実に成長を遂げてきました。

素材そのものに強い関心を持ち、主に木材の質に寄り添った彫刻やインスタレーション作品を制作しています。また、大地に根付いた木々に様々な形や用途が与えられていく「変容」に心を寄せ、一部の作品もまたその「めぐり」の過程に存在させました。

本展では、現存するこれまでの彫刻等作品、写真等資料、あるいは私的な創作から活動を体系的に俯瞰し、作家の精神や思想に触れる機会となれば幸いです。



1)



2)



3)



4)



6)



5)

富山 省三(1940年、黒部市生まれ)

黒部市生地で育ち隣市の入善中学校を卒業。1974年の第29回富山県美術展覧会において「新しい希望」が奨励賞を受賞後、県内外の団体展や公募展で受賞を重ねた。1983年に文藝春秋画廊(東京)での初個展等、活動の裾野を広げていく。また、「選ばれた俊英15人展」(旧・高岡市立美術館)、「富山の美術」(旧・富山県立近代美術館)、「ART IN FRONT TOYAMA」(砺波市文化会館)、「宮野運動公園野外彫刻展」(宮野運動公園)他、県内美術の動向を知る上で重要な展覧会で数々の作品を発表し、下山芸術の森発電所美術館の開館年に個展を開催する等、富山の美術界を牽引してきた。

一方、黒部市総合運動公園に隣接する黒部浄化センターアクアパークの「きららの滝」設計に携わる等、公共空間のクライアントワークも行っている。

1)《おらのかくれが》1989年
インスタレーション、秋山画廊(東京)での展示風景

2)《おらのかくれが—View Level—》1993年
インスタレーション、下山芸術の森(入善町)での展示風景

3)《木81-2》1981年、木、鉄

4)《みちくさのひろいもの》2021年、使い終わった道具、木(廃材)

5)《Mr. Happyのひとりごと—1》1995年、杉板、栗板、ベニヤ合板、ポルト

6)《おらのかくれが》1990年代、イチョウの枝、木(廃材)

3)~6)、表紙 撮影・柳原良平

2022年4月16日(土)

~6月26日(日)

休館日 月曜日

開館時間 午前9時30分~午後4時30分
(入館は午後4時まで)

観覧料 一般 500円(400円)
高校・大学生 400円(300円)
()内は20名様以上の団体料金
*中学生以下無料
*障害者等手帳をお持ちの方と付添1名無料

黒部市美術館

938-0041 黒部市堀切1035 TEL/FAX 0765-52-5011

■電車でお越しの方

【あいの風とやま鉄道黒部駅から】

タクシー 約7分

徒歩 約25分

バス ○石田三日市線北ルート

「総合公園口」⇨下車して徒歩約5分

○生地循環線「道の駅KOKOKくるべ」行き

「道の駅KOKOKくるべ」⇨下車して徒歩約9分

※2022年4月1日運行開始

【新幹線黒部宇奈月温泉駅から】

タクシー 約20分

電車&バス 隣接の富山地方鉄道「新黒部駅」富山方面行き乗車

⇨「電鉄黒部駅」下車

⇨駅前バス停より

生地循環線「道の駅KOKOKくるべ」行き乗車

⇨「道の駅KOKOKくるべ」下車して徒歩約9分

詳細は、黒部市内全域公共交通マップホームページをご参照ください
<http://www.kurobe-koukyoukoutsuu.jp/map/>

